

GIS NEWS LETTER

地理情報システム学会ニュースレター 第117号

発行日 ● 2021年3月25日
発行 ● 一般社団法人 地理情報システム学会

目次

2021年度 GISA学会賞募集	1p
ポストコロナ社会とGIS	1p
分科会報告	2p

学会からのお知らせ	2p
学会後援行事等のお知らせ	3p
事務局からのお知らせ	3p

【2021 年度 GISA 学会賞募集】

【学会賞委員会委員長 奥貫 圭一】

2021年度地理情報システム学会賞6部門の募集を行います。学会賞各部門の対象者および提出物の内容、受賞者選考・決定方法等は、以下のホームページでご確認ください。
<http://www.gisa-japan.org/awards/index.html>

募集部門：

- 「研究奨励部門」(本年3月末日時点で35歳以下の者)
- 「学術論文部門」
- 「ソフトウェア・データ部門」
- 「教育部門」
- 「実践部門」
- 「著作部門」

応募期限：2021年7月15日(木)

提出先：地理情報システム学会事務局

自薦、他薦を問わず、たくさんのご応募をお待ちしております。

選考結果は、9月末日までに応募者各位にご連絡いたします。

また、受賞者は、本年10月に開催予定の第30回研究発表大会で表彰されます。

【ポストコロナ社会とGIS】

■ シンポジウム実施報告 [企画委員会 巖 網林]

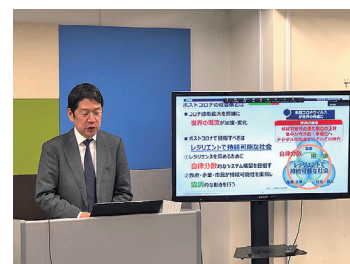
2020年12月4日15-17時半まで、ESRI ジャパン株式会社会議室にて、GIS学会企画のG空間EXPO講演・シンポジウム「ポストコロナ社会とGIS」を開催しました。当日、キーノートスピーカー、株式会社三菱総合研究所(MRI)政策・経済センター参与木根原良樹氏、パネラーの土田氏、小泉氏、石橋氏並びに会長大佛先生、事務局山本先生に会場に集ってもらいました。パネラーの柴崎先生、畑山先生、青木氏にはZOOMによるオンライン参加でした。企画委員会巖委員長が進行を務めました。和田陽一企画委員が会場収録、YouTube中継を担当しました。

シンポジウムは予定どおり、3時に始まりました。会場・オンライン会議室に最多80名以上の方が集まりました。開会

にあたって、大佛学会長よりご挨拶を頂きました。ニューノーマルとは非日常をなくすということで、ウイズコロナがノーマルになることを想定し、それに合わせた形でG空間EXPO2020に協力し、学会運営と社会貢献を続けていくことを宣言されました。

続けて、木根原氏による基調講演に入りました。MRIはポストコロナで目指すべき社会のイメージを「レジリエントで持続可能な社会」と表現し、そのレポートを7月14日に初回、10月19日に2回続けて公表されていました。執筆チームを引率した木根原氏はこのレポートを中心に「ポストコロナの世界と日本—レジリエントで持続可能な社会に向けて」を題として講演をいただきました。ウイズコロナ、ポストコロナの世界と日本が目指すべき方向性を、個人・社会、企業・組織、世界・日本の多角的視点から包括的に描写し、分散自立協調型社会、リアルとデジタルの融合、産官学民による両面市場の構築などの方策を提示して、会場・視聴者に刺激的な示唆を与えました。会場から日本企業の国際競争力や両面市場のプラットフォームやビジネスモデルの具体像について質問が出されて、活発に議論されました。

後半のパネルディスカッションにおいて、土田氏はパンデミックにおけるGISデータエンジンの活躍、小泉氏は行政のリアルサイドにおけるデジタルへの移行と奮闘、石橋氏は学校教育現場におけるオンライン授業の展開の方法、青木氏はパンデミックによる市民活動に対するネガティブとポジティブ両サイドの影響、畑山氏はウイズコロナからみた避難のあり方や災害情報の確実性に対する見方、柴崎氏はコロナ下からみえてきた格差とその対応における公民の役割などについて、問題提起を行い、議論しました。GISはPlaceにこ



会場で行われた基調講演、会長挨拶と司会の映像

だわってききましたが、ポストコロナ社会では Place と Non-Place の両面を融合的に扱う必要があり、それに対するアプローチの開発が求められていることを確認できました。

まだまだ議論を続けたいところでしたが、セッション途中に音声や画面共有にトラブルもあったため予定より 40 分間遅れて終了セッションに入りました。

最後に学会事務局長山本先生よりのご挨拶を持って終了しました。

全体として、有意義な基調講演とディスカッションができ、GIS の今後の発展、学会員皆様の活動展開に多くの有益な情報を発信できたと思います。

【分科会報告】

■ 若手分科会 【桐村 喬・相 尚寿】

若手分科会では、2019 年 10 月～12 月にかけて、会員のみなさまのご協力を得て、若手会員意識調査を実施いたしました。ご回答いただきました皆様、大変ありがとうございました。調査結果については、若手分科会のウェブサイトで公開いたしましたのでご一読いただけますと幸いです。調査結果の公表が大変遅くなってしまったこととお詫び申し上げます。

若手分科会ウェブサイト

<https://sites.google.com/view/gisa-wakate>

なお、GIS 実技系オンライン講義のアンケートも継続中です。ご回答、詳細については分科会のサイトをご覧ください。

【学会からのお知らせ】

■ 『GIS-理論と応用』購読による CPD ポイントの付与について (既報)

HP 上やメールニュースで既にご案内のとおり、「研究誌購読」についても測量 CPD 学習ポイントが付与できるようになりました。

証明証の発行については、事務局まで本年 3 月 31 日 (水) までにお問い合わせください。

■ ニュースレターの配信方法について (広報委員会/既報)

本号より、ニュースレターの会員へのメール配信を開始します。1 年間の移行期間 (郵送およびメール配信) を経て、ニュースレター120 号からメール配信に一本化します。

メール配信にすることで、テレワーク等で手元に紙媒体のニュースレターがない場合でも、電子ファイルで閲覧できるようになる上、写真等はカラーでご覧いただけるようになります。

■ 2021 年度一般社団法人地理情報システム学会定時社員総会のご案内

社員総会で議決権を有するのは代議員の方のみですが、他の正会員の方も出席し意見を述べていただくことができます。

日時：2021 年 5 月 29 日 (土) 15:00～16:00 (予定)

場所：オンライン開催

代議員以外の方で出席をご希望の方は、5 月 28 日 (金) 正午までに、事務局までご連絡ください。資料 (PDF) をお送りいたします。

■ JpGU-AGU Joint Meeting 2021

① 会期：2021 年 5 月 30 日 (日)～6 月 1 日 (火)

会場：パシフィコ横浜

② 会期：2021 年 6 月 3 日 (木)～6 月 6 日 (日)

会場：オンライン

詳しくは… http://www.jpгу.org/meeting_j2021/

なお、当学会関連セッションは以下のとおりです。

●6 月 6 日 (日) 午前

H-TT19 「地理情報システムと地図・空間表現」

●6 月 6 日 (日) 午後：

H-TT14 「Geographic Information Systems and Cartography」

※ポスターセッションはいずれも 6 日 (日) 午後

■ 2021 年度学術研究発表大会のご案内 《予定》

2021 年度地理情報システム学会研究発表大会は、10 月 30 日 (土)、31 日 (日) の両日、オンラインで開催予定です。

発表申し込みの手続き方法など詳細は、決まり次第、メールニュースや HP でご案内いたします。

(発表申込スケジュール：予定)

アブストラクト提出：

7 月 1 日 (木)～7 月 15 日 (木) 正午

講演論文集用原稿提出：

7 月 1 日 (木)～8 月 31 日 (火) 正午

■ 2021 年度初等中等教育における GIS を活用した授業に係る優良事例表彰について (予告)

2021 年度も表記の表彰事業を予定しております。募集要項および過去の授賞については、以下の URL でご確認ください。2017 年度から、受賞者の許可を得られたものについては、資料を公開しております。

<http://www.gisa-japan.org/awards/post-1.html>

応募期間：

2021 年 7 月 1 日 (木)～8 月 31 日 (火) 17:00 必着

表彰 (原則各 1 点以内)：

国土交通大臣賞 (総合的な観点)

地理情報システム学会賞 (GIS の効果的な活用の観点)

日本地図センター賞 (地図の効果的な利用の観点)

主催・共催・協賛など (予定を含む)：

主催：一般社団法人地理情報システム学会

後援：国土交通省国土政策局、

一般財団法人日本地図センター、

一般社団法人人文地理学会、日本地図学会、

公益社団法人日本地理学会、毎日新聞社

協賛：ESRI ジャパン株式会社

選定された個人またはグループの代表には、本年 10 月に開催の「第 30 回地理情報システム学会学術研究発表大会」内で表彰式を執り行うとともに、事例発表もしていただくことを予定しています。

学会後援行事等のお知らせ

■ 第 17 回 GIS コミュニティフォーラム (後援)

主催：ESRI ジャパンユーザ会

会期：2021 年 5 月 20 日 (木) ～21 日 (金)

オンライン開催

詳しくは…

<https://www.esri.jp/events/details/137320/>

【事務局からのお知らせ】

■ 2021 年度年会費納入のお願い

今号は、年会費納入方法が郵便振込の会員の方々に、2021 年度分 (2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日) 年会費の郵便振込専用用紙を同封しております。納入期限は 4 月 30 日 (金) ですので、お早めにお手続きください。

年会費は正会員 10,000 円、学生会員 5,000 円です。

期限に遅れますと、6 月発行のニューズレター 118 号および『GIS-理論と応用 Vol. 29-No. 1』の送付が停止されるほか、ホームページの会員専用コンテンツの閲覧が出来なくなります。

なお、新年度から年会費の口座振替をご希望の方は、4 月 30 日 (金) までに、事務局に申込用紙をご請求ください。

■ 学生会員さんへ 学生証のコピー提出のお願い

4 月以降も学生の方は、新年度に入ってから学生証のコピーを事務局までご提出ください。4 月 30 日 (金) 必着、FAX またはメール添付 (jpg か pdf または写真) でお願いします。学生会員の方には、別途、詳細を連絡済みですので、必ずご確認ください。

※コピーは「氏名」「発行者」「有効期限」が分かるように取ってください。

※コピーの余白に「学部生」「修士課程」「博士課程」の別を明記してください。

※2020 年度に提出された方も、再度ご提出ください。事務局で確認後、以前のものは既にシュレッダー裁断しています。

※学生証が 4 月中に発行されない場合は、その旨、事務局までご連絡ください。

■ 年会費口座振替ご利用の方へのお願い

2021 年度分 (2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日) 年会費の口座引き落とし日は 6 月 28 日 (月) です。口座残高のご確

認をお願いいたします。

年会費は正会員 9,000 円、学生会員 4,000 円です。

■ 会員登録変更・退会等について (既報)

現在の会員登録の状況は、学会ホームページの会員専用ページから、ご自分で確認・変更することが出来ます。

<https://www.gisa-japan.org/member/login.php>

なお、学会 web 等で既にご案内のとおり、退会を希望される場合は確認事項がありますので、まずは事務局までご連絡ください。年度は毎年、4 月 1 日から翌年 3 月末日までです。2020 年度一杯で退会希望の方は、2021 年 3 月末日までに手続き完了が必要です。(2021 年 4 月 1 日から、新年度の学会費が発生します)

■ メールニュースへの掲載ご希望の方へ

学会では個人会員を対象に、メールニュースを配信しています。

内容は学会からのお知らせ、関連イベント、公募情報が主ですが、こちらに掲載をご希望の方は、以下の「お送りいただく情報」をご参照の上、事務局までお申し込み下さい。

(ホームページ上でもご案内しております。)

<http://www.gisa-japan.org/news/request.html?id=02>)

なお、ニュースの配信は、毎月第 2・第 4 金曜日を目安にしています。

<お送りいただく情報>

イベントの場合

・イベント名 ・URL ・日時 (年は西暦/時間は 24 時間表記)

・会場名 ・主催

お知らせの場合

・タイトル ・URL ・内容は 200 文字程度

公募の場合

公募情報の依頼が出来るのは、賛助会員と教育関係の方だけです。

・タイトル ・概要、分野 ・機関名 ・所属

・職名 ・URL (詳細情報)

■ 会議の場所をご提供します

分科会 (SIG)、委員会、支部など、学会活動に関することで会議をしたいが場所が無い…という方は、事務局までお申し出ください。事務局が入居している学会センタービルの地下に、貸会議室があります。予約制ですので、お早目にお問い合わせください。

料金：無料

時間：月曜日から金曜日の 10:00～17:00

注意：インターネットのご利用は出来ません

2021年2月末現在の個人会員 1092名、 賛助会員 52社

賛助会員

朝日航洋(株), アジア航測(株), アドソル日進(株), いであ(株), (株)インフォマティクス, ESRI ジャパン(株), NTTタウンページ(株), 愛媛県土地家屋調査士会, 応用技術(株), 大阪土地家屋調査士会, (株)かんこう, 関東甲信越東海 GIS 技術研究会, (財)岐阜県建設研究センター, 九州 GIS 技術研究会, 近畿北陸 G 空間情報技術研究会, (株)こうそく, 国際航業(株), 国土情報開発(株), (株)古今書院, GIS 支援センター, GIS 総合研究所いばらき, ジェイアール西日本コンサルタンツ(株), (株)ジオテクノ関西, (株)昭文社, (株)ゼンリン, (株)ゼンリンマーケティングソリューションズ, 玉野総合コンサルタント(株), 中四国 GIS 技術研究会, デジタル北海道研究会, 東北 GIS 技術研究会, (株)ドーン, 長野県 GIS 協会, にいがた GIS 協議会, 日本情報経済社会推進協会, 日本スーパーマップ(株), (財)日本測量調査技術協会, (財)日本地図センター, パシフィックコンサルタンツ(株), (株)バスコ, 阪神高速技研(株), 東日本総合計画(株), 北海道 GIS 技術研究会, (株)マップクエスト, (株)松本コンサルタント, 三菱電機(株), 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株), (財)リモート・センシング技術センター
自治体会員: 経済産業省特許庁, 総務省統計局統計研修所, (独)統計センター, 長野県環境保全研究所, 福岡県直方市

学会分科会連絡先一覧

- 自治体: 小泉和久 (千葉県浦安市)
事務局: 青木和人 (あおきgis研究所)
Tel: 050-5850-3290
E-mail: kazu013057@gmail.com
- ビジネス: 高阪宏行 (地理情報技術研究所)
Tel: 03-5379-5601
E-mail: info@georetail.tokyo
- 防災GIS: 畑山満則 (京都大学防災研究所)
Tel: 0774-38-4333
E-mail: hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp
- 地図・空間表現: 若林芳樹 (首都大学東京)
Tel: 042-677-2601
E-mail: wakaba@tmu.ac.jp
- FOSS4G: Venkatesh Raghavan (大阪市立大学)
連絡先: 嘉山陽一 (朝日航洋(株))
Tel: 049-244-4032
E-mail: youichi-kayama@aeroasahi.co.jp
- 若手分科会: 相尚寿 (東京大学)
Tel: 04-7136-4302
E-mail: hisaai@ccsis.u-tokyo.ac.jp
- IoTとGIS: 巖網林 (慶應義塾大学)
Tel: 0466-49-3453
E-mail: yan@sfc.keio.ac.jp

地方支部の連絡先一覧

- <北海道支部>
支部長: 株式会社ドーコン 三好達也
連絡先: NPO 法人 Digital 北海道研究会 (内)
Tel: 011-299-8104, E-mail: gisahokkaido@dghok.com
- <東北支部>
支部長: 東北大学 井上亮
Tel: 022-795-7478, E-mail: rinoue@tohoku.ac.jp
- <中部支部>
支部長: 中部大学 福井弘道
連絡先: 杉田暁 (中部大学)
Tel: 0568-51-9894 (内線 5714)
E-mail: satoru@isc.chubu.ac.jp
- <関西支部>
支部長: 大阪工業大学 吉川眞
連絡先: 田中一成 (大阪工業大学)
Tel: 06-6954-4293, E-mail: gisa@civil.oit.ac.jp
- <中国支部>
支部長: 広島修道大学 川瀬正樹
Tel: 082-830-1210, E-mail: kawase@shudo-u.ac.jp
- <四国支部>
支部長: 愛媛大学 Netra Prakash Bhandary
Tel: 089-927-8566, E-mail: netra@ehime-u.ac.jp
- <九州支部>
支部長: 九州大学 三谷泰浩
Tel: 092-802-3399, E-mail: gisaku@doc.kyushu-u.ac.jp
- <沖縄支部>
支部長: 琉球大学 町田宗博
E-mail: machida@ll.u-ryukyu.ac.jp
連絡先: 澤岬 直彦 (NPO 法人沖縄地理情報システム協議会)
Tel: 098-863-7528, E-mail: takushi@nansei-m.co.jp

■ 編集後記 ■

シンポジウムや講演会などのオンライン開催では NEWS LETTER 用の絵はなかなかみつかりません。既に見慣れた、スクリーン上に並ぶ小さなカメラ映像か、メインの会場で皆マスクで顔を隠して離れて座っている写真が撮られています。Web 上の雰囲気や盛り上がった議論を伝えるためにはどうしたらよいのでしょうか。昔、絵のない絵本(後に絵が描かれた)というのがありますが、形のない自分があるはずの情報の世界はどのような絵に、月あかりに照らされた見たことのない世界のような絵になるのでしょうか。編集の仕事・初を、事務局と原稿を頂きました皆様になにもかもお世話になりながら担当いたしました。至らぬ点多いかと思えます。何卒お許し下さい。(田中一成)

地理情報システム学会ニューズレター

第 117 号 ●発行日 2021 年 3 月 25 日

■発行

一般社団法人 地理情報システム学会

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 4 階
TEL/FAX: 03-5689-7955 E-mail: office@gisa-japan.org
URL: <http://www.gisa-japan.org/>

■ 弥生雑記 ■

「図書館の前に沈丁咲くころは恋も試験も苦しかりにき」(吉野秀雄)
今とは大学の期末試験の時期が異なり、沈丁花が咲く 2 月から 3 月に大学図書館に通っているのは、試験勉強のためだろう。恋までもが苦しいのは、卒業が迫っているからだろう。卒業後は恋人と遠く離れるのかもしれない。別離につながる予感を払拭できないのだろう。それでもこの短歌に苦しいながら希望もほの見えるような甘やかさも感じるの、ひとえに沈丁花のおかげだろう。沈丁花は梔子、金木犀とともに三大香木のひとつに数えられ、とにかく香りが遠くまで届く。寒さを割き、春の予兆を知らせる香りは希望であろう。年度末にいつも思い出す短歌ではあるけれど、今年は殊更に思い返すことが多かった。厄介なことに、漠然とした不安という奴は、どうやったところで逃れ難いかもしれない。でも、明けぬ夜は無く、抜けぬトンネルは無いと信じている。

さて、新年度を迎えます。苦しい時期を乗り越える日が近いことを祈って。(学会事務局)